

令和 2年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	神林久雄
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3522
事務事業名	4913 調査・計画策定事業						
所 属	200200 まちづくり推進部・まちづくり課						
施 策	06013000 土地の有効利用の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080401 土木費・都市計画費・都市計画総務費					
	事業	030000 調査・計画策定事業					
事業目的				事業概要・効果			
須坂市都市計画マスタープランの基本理念・基本構想に基づき、都市計画道路や都市公園等の都市基盤整備を図り、第五次総合計画に盛り込まれた『みんなが快適に生活できるまちづくり』を推進するため、調査、計画策定を行う。				都市計画制度による秩序ある開発の維持・促進と健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動が確保される。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
都市計画道路、用途の都市計画変更決定 都市計画法34条11号の区域指定（日野、豊洲、日滝） 須坂長野東インターチェンジ周辺地区の開発を推進するためプロジェクトチームを設置した。	都市計画法34条11号の区域指定 第7回線引き定期見直しに向けた調査研究 長野都市圏総合都市交通体系調査の実施 インター周辺開発の推進
平成29年度 実績	平成30年度 実績
1. インター周辺開発の推進 2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し 3. 地区計画（五閑地区）の検討 4. 長野都市圏総合都市交通体系調査の実施 5. 都市計画基礎調査の実施	1. インター周辺開発の推進 2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し 3. 地域未来投資促進法に基づく土地利用調整計画の策定 4. 地区計画（井上福島地区）の検討
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
1. インター周辺開発の推進 2. 須坂市都市計画マスタープランの見直し 3. 地区計画（井上福島地区）の検討 4. 区域区分の見直し 5. 都市計画基本図の修正	1. インター周辺開発の推進 2. 地区計画（井上福島地区）の決定 3. 都市計画道路の見直し

指標名	都市計画審議会で審議を行った都市計画決定、変更、廃止の累計件数						
算式						単位	件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標	1	1	1	1	1	
	実績	0	1	0	1		
指標選定の理由	都市計画区域区分、用途地域、都市施設について決定を行うには審議会への諮問が必要なため。						
最終年度目標の根拠	都市計画の見直し状況に合わせた都市計画審議会にて決定、変更、廃止をおこなった審議議案の累計件数						
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		47,130	1,187
特定財源	国庫支出金	4,967	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,000	0
一般財源		32,163	1,187
人員数(人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	0.3	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	10,171.0	10,171.0
	嘱託職員	848.7	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	11,019.7	10,171.0
市民一人当たりの経費		1.1	0.2
総額		58,149.7	11,358.0

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	46,992	都市計画変更等業務委託13,937 都市計画基本図修正業務委託33,055
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	138	普通旅費138

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,000	都市計画変更等業務委託1,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	187	通信運搬費（郵便料）45 IC周辺開発に伴う関係機関協議のための旅費142

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	市が実施しなければならない必要不可欠な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	須坂市の土地利用や交通計画など市の課題解決につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	効果を追求する事業ではないが、生産性の向上につながる計画の立案や土地利用の在り方に努めていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

都市計画マスタープランの改定を行い、戦略的な拠点づくりの施策として都市交流拠点（中心市街地）と新複合交流拠点（須坂長野東IC周辺地区）の位置づけを行った。
今後、新複合交流拠点の確実な土地利用変更と、二つの拠点を活かしたまちづくりを行っていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>インター周辺地区の開発では、特に周辺環境への影響について、長野県、近隣市町村の理解を得ながら官民が連携を図り取り組む必要がある。</p>		<p>都市計画マスタープランに沿った土地利用を進めるため、インター周辺開発など、計画に沿った開発に取り組む必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	